FX 外国為替

資産運用会議 特別号 vol.2

わっきゃい & YEN蔵編



255連勝スキャルパーが仕掛けるFXのeスポーツ化構想

聞き手●鹿内武蔵／本文●田中タスク

小学生のころから気づいていた再現性のない天才である自分

――最初に、わっきゃいさんが何者なのか？という疑問を持っている方に向けて紹介していただけますか。

わっきゃい　一言で言うと、天才としか言いようがないです。このことには小学生の頃から気づいていて、天から才を授かったことをフル活用したいと思ったときから、自分のしっかりとしたアイデンティティになっていますね。

　独自の手法Ｗｅｍｏｆを考案したＦＸトレーダーとして、芸人として、格闘家として、そしてキャップ野球の創始者として、世の中を遊び尽くすべく活動しています。

――あれ面白いですよね。めっちゃ曲がるし、めっちゃ飛ぶし。

わっきゃい　実はキャップ野球の創始者は、私なんです。今では日本キャップ野球協会の名誉会長です。テレビで紹介された大学生がいたと思いますが、あれは私です。グループが紹介されるときは、もっぱら私のチームでした。

――そんな経歴を持っている人が今ではＦＸトレーダーとして名を馳せているので、「一体何者なんだ」となりますよね。

わっきゃい　怪しいと思われるかもしれませんよね。怪しい勢なのは事実なのでしょうがないです。単純に再現性のない発見や発明、発想を生業にしている人間で、肩書は芸人と理解してもらえればと思います。

ＦＸとの出会いはＣＭ出演ギャラの使い道

――わっきゃいさんとＦＸの出会いについて教えてください。

わっきゃい　ＬＩＮＥのＣＭに出演させてもらったときのギャラの使い道がなくて、関連会社のＬＩＮＥ証券を通じて投資をしてみようと思ったんです。仮に全額失ったとしても、ＬＩＮＥからもらったお金を還元したと思えばいい、と。

　投資といえば株ということで株を始めようと思ったんですが、ＬＩＮＥ証券では株の取り扱いがすでに終了していました。それならＬＩＮＥ証券が取り扱っているＦＸを始めて

※連勝記録は2026年3月31日現在



芸人であり、目下255連勝の驚異的な手法、Wemofを考案・実践する若きFXトレーダーでもあるわっきゃいさん。彼は一体何者なのか？　そんな疑問を解決するべく、インタビューを敢行しました。そこから見えてきたのは、単なる敏腕FXトレーダーという顔だけでなく、FXをもっと健全なeスポーツのように発展させたいという大いなる野望でした。

決戦インジケーターの選択と活用

気になるWemofを教えてもらいました!

わっきゃい

みようとなったんです。ちょっと不本意な形ですが、これがFXとの出会いです。

――最初のころは、どんなトレードをしていたんですか？

わっきゃい　どんなトレードと呼べるようなものではなく、上がる下がるを直感で予想して、気の向くままにトレードしていました。何事も実践派なので、まずはやってみて覚えようという感じです。LINEからもらったギャラを全資金と決めていたんですが、始めてから数週間経ったころに為替介入に引っかかってしまって、数百万円を溶かしてしまいました。

――ほろ苦いデビューですね。その後はどんな研究をされたんですか？

わっきゃい　ひたすら経験を積む日々でした。私自身が逆張り人生なので、トレードも直感的な逆張りが多かったですね。最初に視聴したFXに関するYouTube動画がボリンジャーバンドを解説する内容だったこともあって、5分足のボリンジャーバンドをひたすら見ていました。

――そのやり方は、今のトレードにも通じていますか？

わっきゃい　礎になっています。ずっとチャートを観察することで、絶対音感的なものが養われたと感じています。そんな中でジュンFXさんの本に出会って、「順張りは期待で打つ、逆張りは結果で打つ」という言葉に共感しました。前から感じていたことが言語化された思いです。「期待」ってよく分からない部分もありますけど、「結果」は分かります。それを突き詰めてひたすらノートに記録して、それがWemofの基礎になっていきました。

――今のやり方にたどり着いて、「これっていけるんじゃね？」と思ったタイミングはありましたか？

わっきゃい　自分なりに「こうなんじゃね？」と思えるものがあったりしつつ、検証しながら勝ったり負けたりしていました。私は芸人なので目立ちたがり屋で、松井証券の番組に出たいなと思ったんです。先方からフォローされたのでチャンスと思って、出たいと売り込んでみました。すると、「ちゃんと負けている人は出せない」と。やはり、上手い人の

Profile

わっきゃい

ロサンゼルス出身、バイリンガルのお笑い芸人。R-1グランプリ2022に出場し、東京予選2183人中唯一アマチュアで準々決勝に進出したことがきっかけでお笑いの道へ。月に1回程度「どうでもいい日常のニュース」をYouTubeに投稿している。2025年10月より、独自の手法Wemofを基にFX市場へ参入。趣味は鉄道、書道、メジャーリーグ、ポケモン。特技はサッカー、ペットボトルキャップ投げ、FX、空手（全米オープン優勝）。

Web

X：@wildkumadaおよび@wakkyaiforex
YouTube：
https://www.youtube.com/@wakkyai
Instagram：
https://www.instagram.com/wakkyai/
公式サイト：
https://sunmusic-gp.co.jp/talent/wakkyai/



ほうが良いんですね。そりゃそうです。

でも私の中ではＷｅｍｏｆに自信がありました。勝とうと思えば勝てるとも思っていました。それなら私が自信を持っているＷｅｍｏｆだけに絞って、集中的にトレードして結果を出そうと思ったんです。エントリー回数を30分の１にしてＷｅｍｏｆだけにしたら、飛躍的に勝てるようになりました。

――現在のトレード収支をお聞きしてもいいですか？

わっきゃい　初期証拠金が１８５万円で、今が約５４４万円です。だいたい３倍くらいになりました。最初の１か月は１３３万円のプラスでしたね。今月は目下１６０連勝中（２０２６年３月31日時点で２５５連勝）で、獲得ｐｉｐｓが４４６・７、プラス約１０２万円です。勝率は１００％です。

来た波のサイズ（結果）を観測し引きの波に乗るのがＷｅｍｏｆ

――Ｗｅｍｏｆは、何の略なんですか？

わっきゃい　「Wakkyay's Entry Model of Forex」です。名前の通り、どこでエントリーするかを見極めるテクニカル系の手法です。

――ＴｒａｄｉｎｇＶｉｅｗ向けのインジケーターとしてのＷｅｍｏｆもありますよね。

わっきゃい　ここに微妙な違いがあります。Ｗｅｍｏｆは自分の手法であって、インジケーターのＷｅｍｏｆとは別物です。あくまでも私の「考え方」をインジケーター化したものであって、私の「手法」ではありません。手法としてのＷｅｍｏｆは指標発表や要人発言などの影響があるときはエントリーしませんが、インジケーターだと条件を満たしていなくてもシグナルを発します。この違いを理解していただきたいと思います。

――Ｗｅｍｏｆの基本的な考え方について教えていただけますか。

わっきゃい　概念はとてもシンプルです。「ここが底なわけがない」でショート、「ここが天井なわけがない」でロングです。放っておいたらいつかは利益確定できるところで入るのがＷｅｍｏｆです。それを判定するのが、ボリンジャーバンドやチャート形状、変動幅です。そして、戦っている相場なのか、戦っていない相場なのかの見極めも重要です。説明のつかない需給の崩れが起きたときにヒット・アンド・アウェイで利益を狙います。

海にたとえると分かりやすいです。私たちが海で遊んでいるときに、いつどれくらいの波が来るかなんて予測できませんよね。しかし、実際に来た波は観測できます。その中で、次に来る波のサイズも何となく分かります。波のサイズ感が分かればその波が砂浜のどれほど奥まで行くかも予測できます。そして、来た波は引いていきます。この引きの波に乗るのが、Ｗｅｍｏｆなんです。

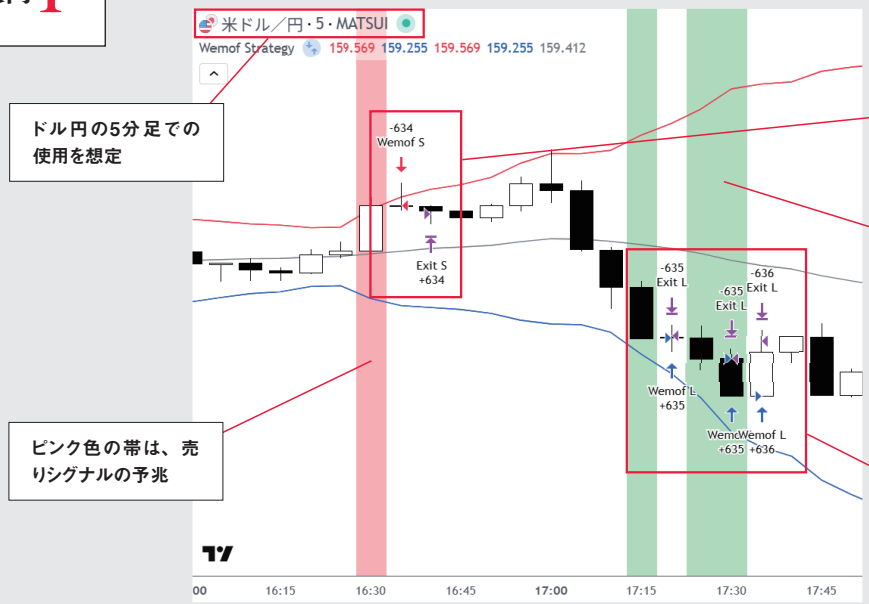
小さい戻りの波に確実に乗って、次の波が来るまでにすぐ逃げる。観測できる実際の波から計算できる引きの波を相場からかすめ取るイメージです。小さい波が対象であり、ファンダメンタルズの影響による津波は対象外ということで、エントリーしません。

――わっきゃいさんは、どんな思考でここにたどり着いたんですか？

わっきゃい　最初に学んだテクニカル手法ということもあって、ボリンジャーバンドからですね。チャート形状を数値化、指数化して、数値の歪みをチェックします。そして、行きすぎたら戻る動きを取りに行きます。大事なのは、どう達したかです。

Wemof 入門 1

シンプルに売買のタイミングを通知



Wemofを TradingView 上で表示したもの。ピンク色の帯は売りシグナルが、緑色の帯は買いシグナルが出現する条件を満たしそうになると、あらかじめ告知してくれる機能です。買い、売りともにエントリー、そして決済のシグナルが表示され、TradingViewの機能を用いてアプリやPC画面にアラートを飛ばすこともできます。いろいろな銘柄で作動しますが、わっきゃいさんはドル円5分足での使用を前提にしています。

ボリンジャーバンドの±3σにタッチしたとしても、どうタッチしたのかが大事なんです。指標発表などは対象外と言いましたが、そういう材料がないのに指標発表みたいな動きをしたときは、大きなヒゲを作って戻ります。そんな場合も狙い目ですね。

――ルールがしっかりしているので、自動売買にも利用できそうですね。

わっきゃい 自動売買だと難しいと思います。まず、自動売買を可能としている業者はスプレッドが広いですし、自動売買だと指標発表などにも反応してしまいます。むしろ自動売買のほうが弱く、人間の強みが出る手法だと思います。

――Wemofは、ドル円専用ですか？

わっきゃい ドル円の5分足に最適化しています。株や暗号資産、コモディティなどでも可能だとは思いますが、あくまでも自己責任でお願いします。私はドル円でしかトレードしていません。

――先ほど出たジュンFXさんの好きな言葉の中に、スキャルピングについて「利食いできるときには利食ったほうが良い」というものがあります。わっきゃいさんは利確についてどうお考えですか？

わっきゃい バチが当たらないところで取る、が基本です。無理に引っ張って全部を取りに行くのではなく、足るを知る、これですね。1日10pips取れば十分、これでお金は超増えます。何なら1日5pipsでも万々歳だと思っています。

新しく編み出した言語の歪み手法もめちゃ勝てる

――最近編み出した新しい手法があるとお聞きしました。

わっきゃい 最近思いついた手法で、言語の歪み手法といいます。ドル円やクロス円といった通貨ペアには情報に大きな壁があるんです。一般的に市場参加者は、1つの塊になっているじゃないですか。しかし、ドル円やクロス円は日本での情報と海外の情報の間に言語の壁があって、そこに歪みが生じるんです。

日本の投資家は海外の情報にほとんどアクセスしないですから、ガラパゴス化しています。この『外国為

Wemof 入門2

1年間の手法バックテストが可能！



Wemofはストラテジーレポートが使用できるため、現在のパラメータによるシミュレーションができます。もちろんパラメータの変更で結果も変化するため、好みの設定によるシミュレーションが可能です。こういったシミュレーションでは、いくら儲かるかも重要ですが、それ以上にどれくらい資産が凹んだかも重要。上の画像では、資金に対する最大ドローダウンが0.07%と低いため、もっとロットを増やしてOKと判断できます。

替』も、おそらく海外では読まれないと思います。そんな壁を唯一通過するのは、翻訳された二次情報だけです。これを読み取ることで解釈の違いや時間差を利用したトレードができるんです。

例えば、片山財務大臣が為替介入について「フリーハンド」と発言しました。日本の投資家は「語気を強めた」と解釈しましたが、海外ではFreehandとそのまま訳され、口先介入とも解釈しなかったんです。やがてこれが口先介入だと理解されてから大きく円高に触れましたが、私たち日本人は発言の直後から円買いができたわけです。

衆院選で中道改革連合が誕生しましたが、この何ともいえない気持ち悪さは日本人しか分かりませんよね。海外では第2党と第3党が合流するので強いと思われたみたいですが、私の感覚ではこの気持ち悪さゆえに自民党の圧勝を予想できました。その予想を踏まえてトレードをすれば、海外勢よりもかなり早くからポジションを取れるわけです。

――AI時代だからこそ、人間の強みをいかすトレードですね。

わっきゃい AI時代のざっくり翻訳が飛び交うからこそ、人間のこうした行間を読むような読解力と、その歪み、ギャップがトレードに役立つんです。

FXをeスポーツのように健全化したい

――わっきゃいさんは学生に向けてさまざまな取り組みをされていますね。

わっきゃい そもそも多くの大学に投資部やトレードのサークルが存在しないことに違和感があります。まだまだFXに悪いイメージを持っている人が多いのかもしれないですが、それを健全な競技として普及させたいです。新たなFXカルチャーを作ってリテラシーを高めていけば、詐欺の撲滅にもつながります。こうした活動を通じて、若いうちから投資への教育、経験を促進したいんです。

――本当はFX会社も積極的に絡んでくるべき活動ですね。

わっきゃい 私もそう思いますが、意外に広がっていない印象です。絶対に成功するプロジェクトなのに、



Wemof 入門 3

売買イメージを履歴一覧からつかむ！

ド番号↓	タイプ	日時	シグナル	価格	ポジションサイズ	純損益	最大順行幅
456 ロング	決済	2026年3月26日, 06:20	Exit L	159.380 JPY	635 101.2 K JPY	+3.175 JPY +0.00%	15.875 JPY 0.02%
	エントリー	2026年3月26日, 06:15	Wemof L	159.375 JPY			
455 ショート	決済	2026年3月25日, 21:25	Exit S	158.968 JPY	637 101.29 K JPY	+27.391 JPY +0.03%	40.131 JPY 0.04%
	エントリー	2026年3月25日, 21:25	Wemof S	159.011 JPY			
454 ロング	決済	2026年3月25日, 17:35	Exit L	158.834 JPY	638 101.27 K JPY	+66.99 JPY +0.07%	79.75 JPY 0.08%
	エントリー	2026年3月25日, 17:35	Wemof L	158.729 JPY			
453 ロング	決済	2026年3月25日, 17:30	Exit L	158.800 JPY	638 101.31 K JPY	0 JPY 0.00%	12.76 JPY 0.01%
	エントリー	2026年3月25日, 17:30	Wemof L	158.800 JPY			
452 ロング	決済	2026年3月25日, 17:20	Exit L	158.844 JPY	637 101.18 K JPY	+3.185 JPY +0.00%	15.925 JPY 0.02%
	エントリー	2026年3月25日, 17:20	Wemof L	158.839 JPY			

現在の設定におけるトレードのシミュレーション結果を一覧表示

シミュレーション時の売買履歴一覧が表示されます。チャートと照らし合わせることで、どういったチャート形状やボラティリティのときに売買シグナルが出るのかが視覚的に把握できます。ただしこのシミュレーションは、24時間チャートに張りついた場合の結果です。実際には睡眠や労働などにより全てのチャンスに参加することはできないことは覚えておきましょう。

動画の再生数などを気にしている場合じゃないんです。やはりFXへのイメージもあって、それを前面に出せる芸能人も少ないのでしょう。だからこそ、僕がその先頭を走って健全化に取り組みたい思いがあります。

――投資には色々な種類があって、FXだけが危ないわけではないですよね。

わっきゃい　値動きを考えると、実は為替が一番落ち着いています。ハイリスクだと思われるのは、レバレッジの使い方が間違っているからです。NISAで投資信託を積み立てるのも有効ですが、安全とは限りません。こうした固定されたイメージについては、私が何とかします！

――そこで、eスポーツ化なんですね。

わっきゃい　FXもサッカーも同じなんです。FXで儲けられる人も、プロのサッカー選手になれる人も、一握りです。でもサッカーは楽しいよと勧めることはできます。こんなもの（FX）があるので、一度触れてみては？と提案することに意味があります。FXのeスポーツ化には、ぜひ『外国為替』さんにも協力してほしいですね。

――ぜひ、協力させてください。

わっきゃい　ところで、3月11日には大学選手権が開催されました。全国から大学生が集まって、証拠金10万円を90分で多く増やした方が勝ちというトーナメント選手権です。eスポーツの環境と同じように、カッコいい会場でやりました。

――着々とeスポーツ化が進んでいますね。私は30代からFXに触れていますが、学生のころからやっている人って、やっぱり上手いと思います。

わっきゃい　時間はあるのにお金はないという時期があるので、必死になって勉強できる機会に恵まれていますからね。また、若さゆえに体力や集中力もありますし。若い人は負けてもまた再起のチャンスがありますが、65歳の人が大きく負けたら再起のチャンスがなくてシャレになりません。そのことを考えると、若いうちから触れておくことってとても重要だと思います。FXの世界を知るだけで、ニュースがバラエティ番組のように面白くなります。これだけでも人生は豊かになると思います。

インタビュー実施日◎2026年2月25日
※一部の内容をインタビュー実施日以降に最新の情報に更新しています



The veteran's next move

Roundtable Discussion

YEN蔵さん、自動売買進出を目論む

～禁止ワード乱発！情報と網を交換する会～

YEN蔵さん、EA販売プラットフォーム代表の八巻さん、鹿内編集長が都内の某焼肉店に集い、FXのこと、自動売買のこと、業界のことを大いに語りました。最近、鹿内のゴトー日EAが好調でもっと自動売買のことを知りたいというYEN蔵さん、自動売買に詳しい八巻さんと情報交換…のつもりが、自粛ワード連発の危険な座談会に？

［焼肉座談会］

YEN蔵×八巻×鹿内

本文◉田中タスク

自分は監督でEAは選手のようなもの

鹿内　僕のEA、basic510の調子はいかがですか？

YEN蔵　調子良いですよ、EAはこれしか使っていないので他のものと比べようがないというのもあるんですが。

鹿内　それまでのEAに対する印象ってどんな感じですか？

YEN蔵　本当に儲かるEAもあるんでしょうけど、それは出てこないものだと思ってましたね。売る方も本当に儲かるEAは手元に置いておいて、微妙にランクを落としたやつを売る、みたいな。

鹿内　実際のところ、そうなんじゃないですか？

八巻　いやいや、さすがにそこまで露骨なことはないと思います。ただ、EAが売れて大人数が同時に売買をすると勝てなくなることはあります。そうなると使う人が減ってくるので、長期では使われないようになります。業者が滑らせたり、スプレッドを広げるといった悪さをすることもあって、それを経て生き残っているものが使われていますね。

鹿内　確かにスプレッドが広がったりすることもありますが、それでも勝てればいいじゃないか、というのが僕の考えです。

YEN蔵　裁量トレードは自分がプレイヤーですけど、EAの使い手って自分が監督になって良い選手を変えながら使っていく発想なのでは、と感じます。だから1つだけじゃダメで、5〜6個持っていて、それぞれの良いところでお金を入れていくのが良いのかなと。

八巻　裁量が分かっている人は、それが分かるんです。自動売買だけのユーザーは、それができません。それなら良い時期、悪い時期が重ならないものをポートフォリオとして組み合わせるのが良いと思います。

鹿内　口座も分けないと、資金管理が難しくないですか？

八巻　撃ち込むロット数によって滑り方が変わるんです。だから業者を分散させて、一度に2ロット以上は撃たないようにするといった対策が有効ですね。

鹿内　MT4での2ロットは、20万通貨です。

八巻　極端な話、デイトレやアノマリー、スイング系のEAであればそこまで神経質になる必要はありません。スキャルピングやブレイクアウト系のEAでは、しっかり意識しておくべきです。

鹿内　別の意味でリスク分散が理にかなっています。一気に20万通貨いくと全部がそのレートで約定しない、といったことがあるので。

鹿内　YEN蔵さんはVPSを使わずにEAを使っておられますが、VPSってやっぱりハードル高いとお感じですか？

Profile

YEN蔵（えんぞう）

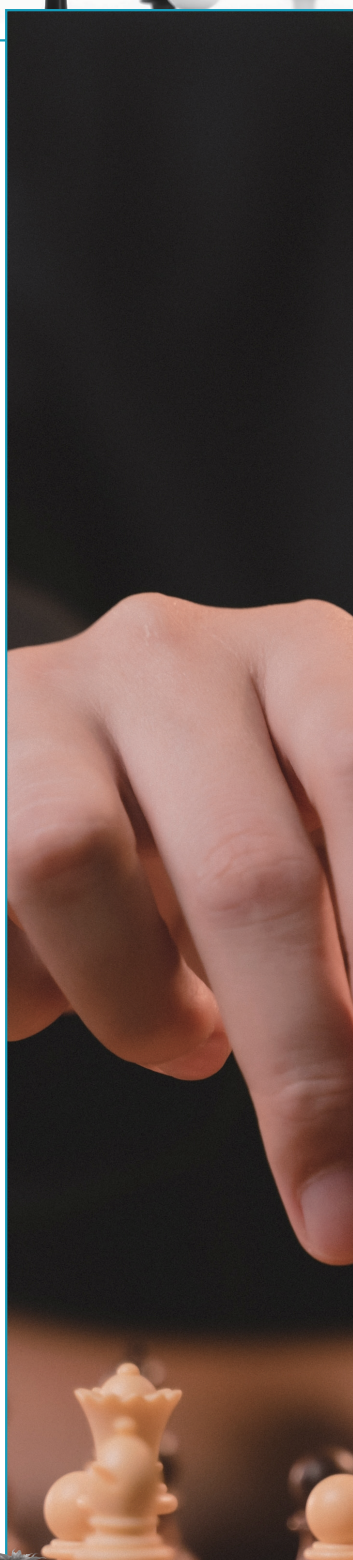
米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャーター ド銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。現在は投資情報配信を主業務とする株式会社ADVANCE代表取締役。ドル、ユーロなどメジャー通貨のみならず、アジア通貨を始めとするエマージング通貨でのディーリングについても造詣が深い。また海外のトレーダー、ファンド関係者との親交も深い。「YEN蔵」の名で為替市場に対するコメントなどで多数のアクセスを集めている。

Web等

X :@YENZOU

YouTube :https://www.youtube.com/channel/UCk-JIsfh0cIfTTbB6U5xMaA









YEN蔵　VPSって月額2〜3千円くらい？

八巻　だいたいそれくらいですが、海外で安いのだと千円くらいのVPSもあります。

鹿内　知識があるようであれば、絶対に再起動しない設定にして手元のWindowsを稼働させたほうが良いかもしれません。VPSってやっぱり処理能力がショボい部分がありますから。その一方で毎月3千円って人によっては重いですよね。

YEN蔵　今のところはEAを1つしか動かしていないですし、ゴトー日だけ立ち上げればいいので、VPSは不要かなと思ってます。たまに稼働を忘れるときがありますが（笑）。

EAのロジックはおおむね王道に集約される

鹿内　改めて紹介します。彼（八巻さん）は新しめのEA販売プラットフォーム、MOSA Marketの代表を務めています。その立場から「今はこんなEAが良い」とかありますか？　ゴトー日EAは全体的に好調ですが、どうして好調なんですか？

八巻　実は、ゴトー日EAについては思い当たる理由が特にないんです。ただ一つ言えるのは、冬時間のほうが調子が良いです。

YEN蔵　じゃあサマータイムになった今はもうダメじゃん（笑）。

八巻　いろんな理由が言われてますが、冬は暖房の需要で原油の輸入量が多くなってドル払いが増えるから、という説もあります。あと、又聞きですが、地球の自転の傾きの影響なんて説もありますよ。

YEN蔵　地球の地軸の傾きが4の倍数だから、チャートは4分足が良いとか言う人もいますよね。でもこういうのって、実際に検証してみるとダメっていうことも多いですよね。



裁量を自動化しただけだとダメということも多いです。裁量だったらまだ頑張れると思うところでもEAはあっさり損切りしてしまうことがあります。ゴトー日EAも「ここは利食いだろ」と思うことが結構あります。

鹿内　さすがです。上手い人はそれで良いと思います。

八巻　過去の統計では、EAの調子が良い年と悪い年が周期的にやって来ます。ゴトー日EAは、そろそろ良くなるかなという周期です。だから年明けから調子が良いのかもしれません。

YEN蔵　ところで、朝デイEAというのを聞いたことがあるんですが、どんなEAなんですか？

八巻　前日の深夜にエントリーして、翌日に決済します。仲値では決済せず

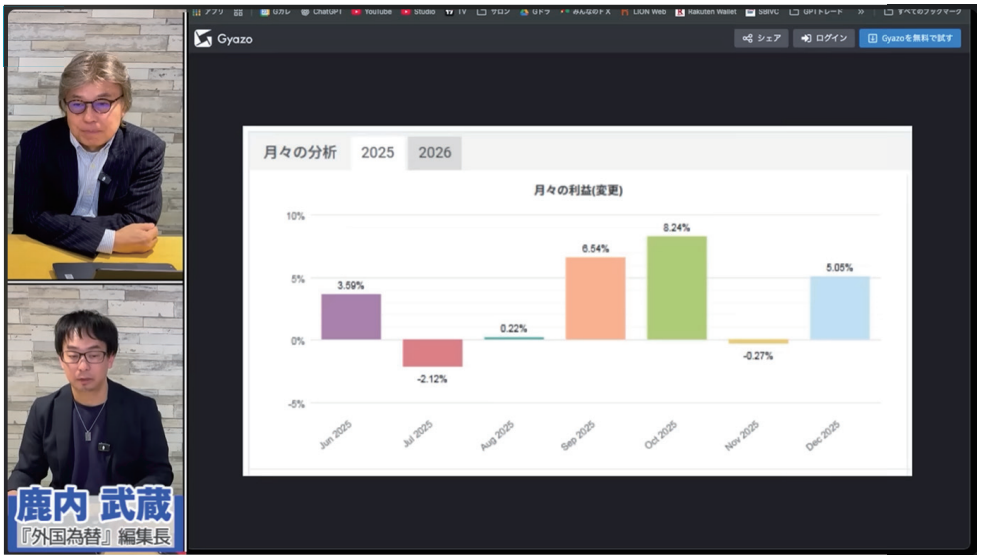
Profile

八巻（やまき）
EA販売プラットフォーム、MOSA Market代表。

Web等

X :@MOSA_Market
公式サイト：
https://www.mosa-markets.com/
YouTube :https://www.youtube.com/@MOSALLC-l7p

YouTubeチャンネルで仲値EAを学ぶ



【仲値トレード】ゴトー日仲値の取引ロジックを外国為替編集長の鹿内氏が解説

YEN蔵さんのYouTubeチャンネルに鹿内が出演し、ゴトー日EAの仕組みや成績の解説をさせていただきました。またYEN蔵さんのサロン内での、仲値系コンテンツの解説もあります。鹿内の滑舌は怪しいですが、編集によるテロップでうまく補っていただいています。

に利食いを狙っていくタイプのEAです。

YEN蔵　そういえば川崎ドルえもんさんが、ゴトー日よりも良いアノマリーを発見したと言っていたのを思い出しました。

鹿内　あれ僕もやってるんですが、やはりゴトー日の貢献が大きいです。面白いロジックですが、やはりゴトー日との縁は切っても切れない感じですね。

八巻　最近はゴトー日に個人投資家が束になってトレードをしているという動きもあるそうです。

YEN蔵　悪い奴らがいるね（笑）。実は銀行じゃなく個人投資家の集団がアノマリーを作っている、と。その場合はゴトー日EAの存在も理解しているので、ちょっとタイミングをずらして仕掛けてくるとかありそうですね。

鹿内　それで、今はどんなEAが良いんですか？

八巻　基本的には仲値・ゴトー日系、ブレイクアウト系、あとは仲値とは違うアノマリー系ですね。市況が好調（座談会実施日時点）なのもあって、ゴールドのEAも良いんじゃないかと思います。

鹿内　オーソドックスなのはアノマリー、デイトレ、スキャルピング、ブレイクアウト、朝デイあたりですかね。そうなるとEAもある程度勝ちパターンが固定化されていて、誰も知らないようなのはそんなにないということですね。

YEN蔵　良いEAの選び方に基準とかあるんですか？

八巻　バックテストとフォワードテストを見るのは基本です。両者が同じような感じであれば良しで、全く違うようなのは論外かと。そういう意味でも王道系は偏りが少ないと思います。

YEN蔵　フォワードテストって、実際にお金を入れてるってことですよね？それってどの程度の期間見るべき？

八巻　ユーザーが増えると儲からなくなる、減ると儲かる、の繰り返しなので、それを考慮すると1年以上は欲しいところです。

鹿内　でも1年待ってると機会を逃しそう、というのもありますね。

八巻　絶対に失敗したくないのであれば待つべきですが、リスク覚悟でやるなら3か月とかでも良いんじゃないですかね。一番ダメなのは、取り返す余力がない人がリスク覚悟でやってしまうこと。





鹿内　お金を持っている人であれば良いけど、DD（ドローダウン）を我慢できない人がやっちゃうとマズい、と。

八巻　DDがないEAなんてあり得ません。ゴトー日EAですら勝てないときが長くあったりします。逆にDDがないEAは必ず破綻します。EAの設定で単利を使う人が多いですが、実は複利のほうが良いんです。複利にしておくと負けてきたときにロットを減らすので連敗期のダメージが小さくなります。複利っていうと増えるほうばかりを考えがちですが、守りの複利も大事です。

いよいよ話は自粛と伏字連発の危険な領域に

YEN蔵　スプレッドの狭さっていうのも成績に影響するんですか？

八巻　それは、めっちゃあります。スプレッドが広がると途端に勝てなくなるEAもあります。A社なら右肩上がりなのに、B社なら全然ダメなんてこともあります。

YEN蔵　そんなに露骨なんだ。

八巻　勝ちすぎると悪さをしてくることもありますよ。トレールのタイミングを遅延させられたり、スプレッドが急に広がったり。だから口座の分散が大事なんです。

鹿内　それはそれで業者とも戦うことになりますね。勝ったら別の口座に移る、みたいな。

YEN蔵　海外FX業者は悪さをしていそうなイメージあるけど。

八巻　実はですね……。

――自粛――

八巻　でも海外FX業者は治外法権なので、何かあって騒いでもお金は返ってきません。国内は最悪の場合でもお金は返ってくるので。

YEN蔵　ちなみに悪いところって具体的にどこ？

八巻　○○○とか●●●あたりですね。エントリーポイントが重なるところでスプレッドが広がったりします。MT4を手がけていない▲▲▲の話ですが、最初からお客さんが負ける金額を計算した上で処理していて、資金規模が大きい人ほどやられる、とかあります。

YEN蔵　海外業者だと、どこが良いとかあるんですか？　あくまで興味本位の質問です（笑）。

八巻　（業者名すべて自粛）あたりですね。ボーナスが派手じゃないところはスプレッドを狭くできるので、良心的といわれています。

鹿内　今は入金経路が厳しくなってきて、海外FXはオンラインカジノみたいな扱いになってきちゃってますけどね。

――話が飛びまくったため省略――

YEN蔵　そもそもインターバンクで0・5pipsくらいなのだから、それ以上の競争は不要なんですよ。

鹿内　びっくりするくらい話は飛びますが、株や債券の市場にいる投資家の多くは、お金も時間もあるからしっかり吟味できる。だからしっかりしたレポートがコンテンツとして喜ばれますけど、FXはそういう世界じゃないです。レポートよりも、今すぐ勝てそうなインジケーターとかEAが大事、となってます。これは日本のFX業界における特殊性の一例ですが、日本に進出してくる海外の業者で、こういう日本の特殊性を理解していないとろは苦

優位性がある自動売買はほぼ似たタイプ

仲値・ゴトー日

ゴトー日の9時55分に向かってドル円が上がり、それ以降はドル円が下がる傾向を利用して売買をする。好成績になりやすい。

ブレイクアウト

意識されやすい高値、安値を突破することを条件に、エントリーするタイプの自動売買。ボラティリティとの連動がカギ。

デイトレ

主にテクニカル要因でエントリーし、日をまたがない程度の時間ポジションを保有するタイプ。順張りタイプと逆張りタイプがある。

朝スキャ

日本時間早朝のボラティリティがない時間帯に逆張り主体で売買。優位性は高いが、スプレッドやスリッページとの戦いになる。

朝デイ

前日の深夜にエントリーして、仲値では決済せずに保持し、利益を狙っていくタイプのロジック。

その他アノマリー

ゴトー日以外のアノマリーを活用するタイプ。有名なところではロンドンフィキシング、月末の円買いなど。

MT4やMT5のEAはロジックが公開されていないため、投資家は売買戦略を完全には把握できません。そのため世の中には多種多様な優れた自動売買があると考えてしまうかもしれませんが、勝てる自動売買の「型」はだいたい決まっており、上記が代表的なものとなります。



戦している印象です。

YEN蔵　日本の消費者はスマートだから、〇〇相手のビジネスモデルは通用しないんですよ……。

――自粛――

鹿内　日本でMT4が使えるFX会社は中小が多くて、マーケティングにあまりお金をかけられないから人を呼び込めてないのかもしれません。

八巻　株に投資している富裕層なんかがもっとFXに参入してくると、変わってくるかもしれませんね。NISAみたいに「ここにお金を入れると運用できる」みたいなのがあれば、メジャーになっていくと思います。

鹿内　ただ僕は、FXは一部の人が一生懸命やっていれば結果が出るという世界で良いかなと思います。同じEAに投資家が殺到するとスプレッドが広がるのは当然でしょうし、それを理解した上でやるのも投資家のリテラシーなんじゃないかと。

座談会実施日◎2026年3月2日

勝てるトレードは単純作業。

ルール作りがFXの全て

黒田雄士の
FX三番勝負
Yuji Kuroda`s Triple FX Showdown
その2
YEN蔵
編



YENZOU

黒田　YEN蔵さんも、株取引をされているんですか？

YEN蔵　今のメインは株ですね。黒田さんは資金投入の割合をどうされていますか？

黒田　株に比重が寄っています。現物の株を持って、長いと1年以上持つと思います。

YEN蔵　私の場合は、決算から次の決算ぐらいの期間で保持していることが多いです。持ち越すこともありますが。決算やレポートを見て、格上げなどが出た銘柄を取って、それを調べて、良さげなのを持っている感じです。決算だと噴き上がることがあるじゃないですか。ここで調べて良さげだったら、次の決算を狙うようなイメージです。

黒田　あんまり動いていないうちに、とりあえず買っておくんです。上がっていても良いはずなのに放置されている銘柄をピックアップして、ちょっとずつ買っておく。

YEN蔵　最近みんなよく見ているからか、放置されている銘柄ってなくないですか？

黒田　プライム銘柄だとやっぱりないですね。そこそこ出来高があって「なんでこんなに低迷してるんだろう」という銘柄を虎視眈々と狙っています。

YEN蔵　株は、情報交換する人がいっぱいいるので、「みんなで調べる」といった意識がありますよね。

黒田　私も日々勉強させてもらって

Yuji Kuroda



目の前の値動きに一喜一憂せず、
感情を揺らされずに済む「持続性の高いトレード」を
追求してきた黒田雄士（相場師クロ）さん。
『外国為替』にも幾度となく寄稿いただいた彼が、
FX界隈の有名トレーダーと対談します。
二人目のゲスト、FX界の重鎮YEN蔵さんとは、
株取引やトレードへの考え方など、
何かと相通じるものがあるようです。
発展途上のトレーダーへ思うことや、
日々情報発信に努める意義まで、
相場と向き合う彼らの姿勢が
改めて浮かび上がってきました。

本文◉佐野雄二
撮影◉氏原智浩

YEN蔵　株ってバリエーションがありますよね。その会社のデータが出ていて、IRで社長の話も聞けるし、調べる対象は多岐にわたります。割安な株にしても既にあるデータを調べて初めてそうだと分かるわけですが、株のほうが時間をかければチャンスは大きいんじゃないかな、と思っています。

黒田　ただ、株取引は資金力勝負な面があって、参入障壁が高いですよね。その点、FXは資金が少なくても参加できるから、ハードルが下がります。FXのように本当にテクニカルを黙々と研究していれば良いっていうのとはずいぶん違うなっていうのは、勉強し始めた1年ぐらいで分かってきました。

YEN蔵　FXでレバレッジを思い切ってかけられる人は良いけど、私の場合はチキンだからあまりレバレッジをかけられないです。「けっこう買ったな」と思っても最大で12倍ぐらいです。株の場合は、逆に3か月から半年ぐらいの、決算から決算ぐらいの期間なら資金効率がそんなに悪くないので、比較的勝負しやすいと思っています。それで入る人も多いけど、独特の難しさがあるので、勝てる人が少ないのだと思います。

黒田　長期投資であれば、株のほうが相性が良いと私も思っています。逆にFXは長期投資よりも短期投資向きかな、と。為替相場では相場を動かす材料がコロコロ変わるじゃないですか。今（10月上旬）は高市新総裁になって円安株高の流れになっていますが、また違う材料でガツンと動くかもしれません。でもそれって「なってから」じゃないと分からないし、いつ何が材料になるのかも正確には分からない。そうなると、ファンダメンタルズをいくら勉強し



Profile

YEN蔵（えんぞう）
米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。現在は投資情報配信を主業務とする株式会社ADVANCE代表取締役。ドル、ユーロなどメジャー通貨のみならず、アジア通貨を始めとするエマージング通貨でのディーリングについても造詣が深い。また海外のトレーダー、ファンド関係者との親交も深い。「YEN蔵」の名で為替市場に対するコメントなどで多数のアクセスを集めている。

Web

X（旧Twitter）：@YENZOU
YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCk-JIsfh0clfTTbB6U5xMaA



Yuji Kuroda`s Triple FX Showdown
黒田雄士の
FX 三番勝負



「時間軸を決めて勝負するのが大事だと思います」

YENZOU

てもFXでは使い物にならないことがある、というところが難しいと思います。

YEN蔵　FXではトレンドが意識されますが、トレンドは時間軸の取り方によって違ってきますよね。115円から161円までいくような大相場は滅多にないけど、5分足で見たらトレンドって毎日いっぱい出てるじゃないですか。

　動く値幅が30pipsでもトレンドですから。私がいつも言うのは、5分足で勝負するのか、15分足で勝負するのか、1時間足で勝負するのかを決めない優柔不断は良くない、ということです。5分足のトレンドを狙っているのに、5分足のトレンドが崩れて、1時間足ならどうだろう、とフラフラしてしまうのはダメですよね。だから、FXは時間軸を決めて勝負するのが良いと思います。

黒田　私の場合、時間軸で勝負する考え方がしっくり来なくて、時間足を役割分担させてみたんです。

　1時間足で目線を決めて、4時間足と日足で、目線の方向に対して仕掛けても良いかどうかを、空間があるかという観点から見つけて判断します。デイトレに十分な空間があるのならばOKと判断して。そして、5分足と15分足のMA（移動平均線）の当たり方の組み合わせで4つぐらいパターンを作って、どれかにハマったら、目線と一致しているときにトレードする。この規則性だけでトレードしていたらとりあえず負けはしないだろうってルールを作ったんです。

YEN蔵　デイトレードでも4時間足まで見るんですね。

黒田　4時間足で見ていても、MAを表示させていると、MA同士の間に30〜40pipsしか空いていないとか、動きやすさが見えてくるんです。日足ぐらいまで見ておくと、その日1日で動きそうな幅が把握しやすくなります。YEN蔵さんはどう

対談実施日◎2025年10月6日

ですか？

YEN蔵　私は15分足と1時間足でトレードしています。1週間の中で2日か3日ぐらい、1時間足でトレンドができることがあり、そこで1時間足を見てトレンドが出た方向に、15分足の押し目や戻りで入ります。もちろんトレンドが出ないときはパスします。

黒田さんは5通貨の動きを見ているんでしたよね。例えば東京時間だと、仲値を過ぎれば目立った指標がなく、ロンドン時間に入ってくるとポンドが指標で動く傾向があります。そういうときは勝負しますか？

黒田　指標は避けてますね。値動きがブレてしまうことが多いので。朝のうちに必ず経済指標はチェックしておきます。指標が過ぎて何もなければ、また良い形が出てきたときにエントリーを検討します。元々損切り幅が7〜8pips程度なので、スプレッドに切られて損切りされるのは避けたいですね。

全文は
外国為替公式サイトで
ご覧ください！

Editor's Note

❶資金力勝負になりがちな株取引と比べてFXは参入障壁が低い
❷ただ、為替相場を動かす要因は多く、FXには独特の難しさがある
❸どの時間軸を見るかによってトレンドの捉え方は変わってくる
❹自分が勝負する時間軸が優柔不断なのは良くない

notice

黒田雄士のFX三番勝負 その3 ゆかてぃん編



黒田さんのFX三番勝負その3はYouTubeでご覧になれます！株式会社CXRの公式チャンネル「FXトレードルーム」で、テクニカルアナリストのFXトレーダーゆかてぃんさんと共に「短期デイトレードを勝ちやすくする構造的な考え方」を解説しています。

「データの鬼が語るFXで勝つ為の構造を読むチカラ」

「自分に合うやり方を探して時間足の役割分担に行きつきました」





Survival of the fittest FX theory

Interview

適者生存FX論 ❶

SURVIVAL

ぶっちゃけFXは一番難しい投資だからこそ

テクニカルを磨きながら相場のテーマをいつも把握しておく

Interview

YEN蔵

外資系銀行で20年以上外国為替ディーラーとして活躍し、
現在は投資系メディアやYouTubeなどで
マーケットに関する情報発信を精力的に行っているYEN蔵さん。
豊富な知識と経験を持つ為替のプロに、
FXで成功するためのノウハウをインタビューで伺いました。
今回は聞き手役として、ユーチューバー&FXトレーダーの
逢坂みぁさんにも参加していただきました。

聞き手●逢坂みぁ／本文●落合彰

取引しやすいのはドル絡みの通貨ペア

逢坂みぁ（以下逢坂）「長年、銀行でディーラーとして活躍されていたＹＥＮ蔵さんですが、個人投資家になってからは為替相場に対してまた違った印象をお持ちなのではないでしょうか？」

YEN蔵「銀行を辞めたのは２００８年くらいで、そのときは円キャリートレードが流行っていて、スワップを取るやり方がメインでした。でもスワップを取るやり方だと絶対に最後はドスンと円高に動くので、危ういなと思っていたら案の定リーマンショックでそうなったわけ。

日本のＦＸトレーダーの皆さんはクロス円が大好きで、だいたい円絡みの

yenzo market

登録数2.74万人のFX系人気YouTubeチャンネル。毎日更新される朝会は、相場観が養えると評判の人気コンテンツ。FOMC、ECBといった重要な経済指標や要人発言時のライブ配信は、万単位の視聴者が参加する。



通貨ペアでしかトレードしないよね。ここ1年ぐらいは外貨の金利が上がってきているので、またスワップが取れるのであればクロス円の取引でもいいけど、クロス円の場合、考えなければいけない要素が三つになるので基本的に難しくなる。例えば、ドル円だったらドルと円の力関係で為替が動くので、その二つの要素を考えればいいけど、ユーロ円ではユーロと円とドルの三つの力関係を見なければならないからね」

逢坂「ドル絡みの通貨ペアで取引した方が簡単だということですか？」

YEN蔵「そうだね。ドルが絡む通貨ペアは直接取引なので、動きがはっきりする傾向がある。もちろんリスクオン、リスクオフが流行っているときはクロス円中心でもいいけど、そうじゃないマーケットもあるので、そこらへんは使い分けた方がいい。それと、株の動きで円高や円安になるときも同様にクロス円中心でいいけど、そうではないときはドル絡みの方が分かりやすいよね。特にドル円はスプレッドも狭いし、取引しやすいと思うよ」

逢坂「今はFX会社間のスプレッド競争が激しくなっていて、ドル円のスプレッドは極めて狭いですよね。個人トレーダーにとってはありがたい環境です」

YEN蔵「個人トレーダーの方が入手できる情報も昔と比べて格段に増えたよね。銀行で得られる情報と比べるとまだ少ないけど、それでもトレードに生かせる情報をFX会社などからタダでたくさん得ることができる。今は昔とは比べものにならないほど低コストでトレードできる環境が整っていると思う。FX会社が頑張りすぎなんじゃないかな」

逢坂「YEN蔵さんはFX以外にもいろいろな投資をされているじゃないですか。全体的に見て、FXトレーダーの特徴や問題点などありますか？」

YEN蔵「株に比べてFXや仮想通貨を取引する人は若い人が多いよね。過去に投資の経験がない人たちにとっては、株よりもFXや仮想通貨の方が参入のハードルが低いんだと思う」

逢坂「確かに、株→FX→仮想通貨の順に若くなっていくイメージです。最近のFX業界で他に良い部分、悪い部分、変わっていけばいい部分などはありますか？」

YEN蔵「日本のFX会社はすごくクリーンだよね。例えば、FX会社が破綻しても証拠金は保証してくれるし、海外の業者と比べると明らかに安全で、しっかりレギュレーションができていると思う。その一方で、あまりにもスプレッド競争が激しすぎる。そこにこだわるのではなく、約定力を上げるとかもっと他のことを重視してもいい気がする」

逢坂「日本のFX会社のサービスはすごいですよね。ツールはとても使いやすいですし、取引できる通貨ペアもどんどん増えています。各社の差がもうつかなくなってきているので、ちょっと大変そうだなと感じます」

YEN蔵「差別化を図るといっても、限界があるよね」

相場を動かすテーマが何かを常に意識する

逢坂「続いて、FXで成功するためのアドバイスをいただきたいです。まず個人トレーダーにお勧めの平日のルーティーン、週末のルーティーンなど、こ

Profile

YEN蔵（えんぞう）
米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャーダード銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。
現在は投資情報配信を主業務とする株式会社ADVANCE代表取締役。
ドル、ユーロなどメジャー通貨のみならず、アジア通貨を始めとするエマージング通貨でのディーリングについても造詣が深い。
また海外のトレーダー、ファンド関係者との親交も深い。
「YEN蔵」の名で為替市場に対するコメントなどで多数のアクセスを集めている。

Web

Twitter:@YENZOU
YouTube :https://www.youtube.com/channel/UCk-JIsfh0clfTTbB6U5xMaA



Interviewer
逢坂みぁ（あいさか みぁ）

Profile
2019年の会社退職をきっかけにしてFXとYouTubeを開始。2021年6月にノックアウトオプションで資金を14倍に増やし、9月にはファイスタTV公式FXトレードバトルで優勝。日足と15分足を使ったトレードを得意とし、損切りの早さに定評がある。

Achievement
ラジオNIKKEI『夜トレ!』にて夜トレガールズ!として出演中
外貨ex byGMO公式チャンネル『トレアイBAR』レギュラー出演中

Web
Twitter:@miaaaw31
Blog:https://mia-fxblog.site/
YouTube:https://www.youtube.com/@miaaaw31
Instagram:https://www.instagram.com/m1axqx/



んなことをやっておいたらいいみたいな習慣があれば教えてください」

YEN蔵「僕は毎日チャートだけでなくファンダメンタルズも見ていて、YouTubeで朝会をやるために経済指標とか要人発言は必ずチェックしています。FXの基本はテクニカル分析だと考えているんだけど、ただテクニカルをやるにしても何で相場が動いているのかを把握しておく必要がある。例えば、相場を動かすテーマは少し前だと銀行問題だったし、その前は金利の上昇だった。テクニカルだけでなく、ファンダ的に今何がフォーカスされているかのチェックは毎日やっておいた方がいいだろうね」

逢坂「ちなみに、テクニカル分析を重視するという考え方は、株や商品先物など他の投資に対してもお持ちですか？」

YEN蔵「株もテクニカルがメインになるけど、時間軸の長い取引だとファンダの要素が入ってくる。個別株の場合は経済全体のファンダだけでなく、個別の企業のファンダが重要になってくるので、そこを調べないといけない。株が上がるか下がるかはファンダと需給で決まるので、そこの分析に時間を割きますね。一方、為替の場合はフォーカスされているテーマから大局的に上がるか下がるかがある程度予測できるけど、日々のトレードはテクニカルじゃないとできないから、必然的にテクニカルのウェイトが高くなるよね」

逢坂「なるほど。さまざまな投資先がある中で、FXトレーダーは手っ取り早く稼ぎたいという人が多い印象です。FXのトレードで特に気をつけることはありますか？」

YEN蔵「個人的な見解ですが、僕はFXが一番難しいと思っています。株が簡単とはいわないけど、個別株の場合は業績を徹底的に調べることによって打率を上げることができる。すごく儲かっている会社は、いずれ上がるからね。でも、FXは絶対的にこれで動くという要素が決まっていない。もちろんファンダでもテクニカルでも動くには動くけど、動く要素が常に変わるから難しいんだと思う」

逢坂「そう思っている方は少なくないですよね。『FXってトレンドがないから難しくない？』みたいにおっしゃる方もいます」

YEN蔵「為替相場には、上がるか下がるかの決定的な理由がないんだよね。例えば、メキシコペソのようなスワップ金利が高くて上昇傾向の通貨ペアがあっても、それがどこまで上がるか分からない。株だったらPERとかで大体のあたりはつけられるんだけど、為替はどこまで行っても不思議ではないし、限界が読めない。タガが外れちゃうと、去年のドル円のように151円まで上昇するケースもあるわけで、そこは難しいよね」

アルゴリズム取引に張り合う必要はない

逢坂「話は変わりまして、好きな相場格言はありますか？」

YEN蔵「『相場は明日もある』という格言が好きです。僕は損切りが得意で利食いが下手なんだけど、相場は明日もあるし明後日もあるので、一つのポジションとその損益結果にこだわらないようにしてる。それと格言じゃないんだけど、プロ野球の名監督として知られる野村監督が述べた『勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし』という言葉は相場にも当てはまるかなと。どんなことでも負ける理由は

決まっていて、相場でもやっちゃいけないことをやると負けるべくして負けます。裏を返せば、やってはいけないことを徹底してやらないようにすれば負けは減らせるんだよね。あと、羽生善治の『決断力』という本も良かったかな。勝負師の心意気を知るにはいい本だよ」

逢坂「大きな損切りをしちゃったときって、なかなか先に一歩踏み出せないじゃないですか。でも明日もあると割り切ってしまえば、今日の負けはいったん置いてまた頑張ろうと思えます。この『相場は明日もある』という言葉、好きかもしれないです」

YEN蔵「トレードを休むにしても、全く相場を見ないようにするんじゃなくて、例えば今までチャートを4面で見ていたのであれば、それを1面に減らすなどして頭の片隅に入れておくといいかもしれないね。それと、大負けしたあとはロットを減らしてリハビリしながら再スタートしていくのがいいんじゃないかな」

逢坂「FXは24時間いつでもどこでも取引できるじゃないですか。いつでもチャンスが狙えるということは、チャンスを取りこぼさないように常に相場に張り付いてしまうトレーダーさんも結構多いと思います。生活を疎かにしないように相場との適度な距離を保つにはどうしたらいいですか?」

YEN蔵「短期トレードの人だったら取引時間を決めるのがいいよね。あるいはより長期にするのもありかと。スイング系の長期トレードでストップロスと利食いを置いておけば、相場への拘束時間はかなり減ると思う。あとはアラート機能を利用するのも有効だね。どこのFX会社のツールにもアラート機能はあるので、寝るときにそれをセッティングしておくとか」

逢坂「なるほど。そのようにすれば生活リズムを崩すことなく相場に向き合えそうです。ところで、最近の為替市場は、AIによるアルゴリズム取引の占める割合が増えていると思います。そういう市場に対して、個人トレーダーはどう向き合うべきだとお考えですか?」

YEN蔵「初めて僕らがアルゴリズム取引を見いだしたのは、1990年代後半から2000年ぐらいのときです。銀行間の取引はEBS（Electronic Broking System）という端末でやるんだけど、その端末の中にも異常に高速な売買をしている人たちがいて、人間が見ても分からない速さで1秒間に何十回、何百回と取引するんだよ。いわゆるHFT（High Frequency Trading）なんだけど、個人トレーダーがそれと同じ土俵で戦ってもしょうがないよね。なので、僕はアルゴリズム取引に巻き込まれないよう、距離を取って長期のスイングをやっています。スキャルの人はアルゴリズムと戦わないといけないので大変だと思うよ。研究してアルゴリズムのクセを見ながら裏をかいてやっていくしかないんじゃないかな」

逢坂「ありがとうございます。次に、初心者にお勧めのテクニカルのインジケーターはありますか?」

YEN蔵「初心者に向いているかは分からないけど、僕はピボットとRSIを使ってる。ピボットに関しては、デイリーピボットと週間ピボットが重なるところをかなり意識してる。例えば、昨日（2023年3月29日）はデイリーピボットのレジスタンス3と週間ピボットのレジスタンス1が重なっていたんだよね。ピボットは損切りポイントが分かりやすいのも利点かと」

逢坂「私もピボットを使っているので良さが分かります。初心者にもお勧めだと思います」

適者生存FX論❶

SURVIVAL TECHNIQUE

僕はピボットとRSIを使ってる。ピボットに関しては、デイリーピボットと週間ピボットが重なるところをかなり意識してる。

注目すべきファンダは金利と中央銀行の動き

逢坂「ファンダメンタルズについてもう少し掘り下げてお話を伺います。ここ最近で注目しておくべき点はどこでしょう?」

YEN蔵「金利と中央銀行の動きは押さえておいた方がいいね。特に金利は為替にも株にも全部に影響する。ファンダメンタルズは難しいので敬遠しがちだけど、金利だけは絶対に見ておきましょう」

逢坂「ファンダメンタルズはとっつきにくいですよね。個人的な話になってしまい恐縮ですが、初めてFOMCのドットチャートを見たときに見方が分からず挫折しました。あれ分かりづらくないですか?」

YEN蔵「確かに分かりづらいので、ドットチャートを見るのではなく、SEP（FOMC参加者の経済見通しのサマリー）の下の方にFFレートのターゲットというのがあるから、そこを見た方がいいよ」

逢坂「なるほど、勉強になります。10年前とか20年前ってFXを勉強するツールといえば基本的に本でしたが、今は動画とかSNSとかたくさんあって、初心者はどの情報を信じたらいいのか判断がつかないと思うんです。YEN蔵さん的にお勧めの動画やSNSはありますか?」

YEN蔵「最初はFX会社が公開している初心者向けの解説動画を見るのがいいんじゃないかな。あとYouTubeを見るんだったら、本当に信頼できる人が教えてくれる動画がいいよね。また、ニュースを取得するのにTwitterは便利だと思う。ただ、基本的にロイターとかのニュースは英語版の方が早く出るので、速報性を求めるなら英文のニュースを読む必要がある。英語でもTwitterやグーグルの翻訳機能を利用すれば内容は分かると思うので、英語ができなくても問題ないでしょう」

逢坂「私もTwitterは情報を得るのに適していると思います。ただ、SNSは自分の都合のいい解釈で情報を取ってしまいがちです。例えば、自分のポジションとか思考に合致しているものしか取ってこないみたいな。偏った情報を取らないようにする方法はありますかね?」

YEN蔵「FXの情報ってそんなに偏ってるかな? 海外の情報とかいろいろ見るけど、僕は別に偏っているとは感じない。むしろ株関連の方が煽りのポジショントークとかが激しいと思う。FXはまだマジなんじゃないかな」

逢坂「確かに個別株のSNSは私利私欲が渦巻くダークネスなところという印象があります。その点、FXは割とフェアかもしれません」

複数のテクニカルを身につけることが重要

逢坂「では、単刀直入にFXはどうすれば儲かると思いますか?」

YEN蔵「俺が聞きたいよ（笑）。真面目に答えるなら、自分の得意なテクニカルを三つくらい決めて、それをブラッシュアップしていくことだね。例えば、野球のピッチャーはストレート1本のみではなく、カーブ、スライダー、フォークなど他の球種も覚えた方が有利じゃないですか。FXもそれと同じで、自分に合ったテクニカルを三つぐらい選んでしっかり勉強して、まずは自分のものにすることが大切だと思う。そして実際にエントリーしてみて、勝てるかどうかを試してみる。FXで勝つ秘訣は、使えるテクニカルを一つずつ増やしていくことじゃないかな」

逢坂「インジケーターの基本部分や性質をしっかりと勉強した上で、トレードの場数を踏んでいき、慣れていくみたいな感じですかね」

YEN蔵「そうだね。FXの勝ち方は本当に千差万別だけど、地道にテクニカルの勝率を上げていくか、リスクリワードを高くするか、それしかないと思う」

逢坂「ありがとうございます。では最後に読者の方に向けてメッセージをお願いします」

YEN蔵「FXは非常に難しいので、まずはいくつかのテクニカルを勉強して使いこなせるようになってください。ファンダメンタルズに関しては、勉強するというより、今のマーケットが何に注目しているかということだけ押さえておけばいいと思います。

また、FXは1000通貨取引ならやられても致命傷になることは少ないので、1000通貨で慣れてから資金を本格的に投入していくのもいいんじゃないかな。何の努力もせずに初心者がいきなり成功できるほど甘い世界ではありません。焦らずゆっくり成長していきましょう」

インタビュー日◎2023年3月30日

Editor's Note1-1

FXには方向感や価格の決まった基準がない

実は一番FXが難しい理由

- ●FXは「これで動く」という絶対的な要素が決まっていない
- ●テクニカルだったり、ファンダメンタルズだったり、そのとき重視される情報が頻繁に変わる
- ●注目される通貨も移り変わる
- ●どこまで上がるか、下がるかの基準がない



YEN蔵さんが、「FXは実は一番難しい」と考えるのは、FXでは上がるか下がるかの基準が定まっておらず、相場によってコロコロ変わるからです。また、FXには株のPER（株価収益率）のような、価格変動の目安がなく、上がるとき、下がるときにどこまで行くかも分かりません。ドル円の月足チャートを見ると、2017〜2021年の5年間はほとんど動きがなかったドル円が、2022年から突如として動くようになり、一気に151円まで到達しました。

Editor's Note1-2

短期トレードの頼れる基準、ピボット



前日（1つ前の足）の高値・安値・終値から計算され、チャート上に描画されるインジケーターがピボット。短期的な売買をする際の価格目標としてよく利用されます。特に注目は、日足のピボットと週足のピボットが重複するタイミングで、強力なサポートやレジスタンスになることが多く、利用価値は高いです。上のチャートは、インタビューの中でも出てきた3月29日のドル円チャート。日足と週足のピボットがほぼ同じ位置にあり、抵抗として機能しています。

チャート提供：TradingView